

サーモン（ニジマス）の稚魚が元気に育っています！

サーモンといえば回転寿司でも人気の高い魚種ですが、香川県でもニジマスという種類のサーモンが海で養殖され、讃岐さーもんとして販売されていることを知っていますか？（ちなみに次の4月からはオリーブサーモンにリニューアルされます！）

実は水産試験場でもサーモン養殖を応援するため、成長の良い魚をかけあわせることでその特性を引き出す「育種」に取り組んでいます。

その方法は次の通りです。

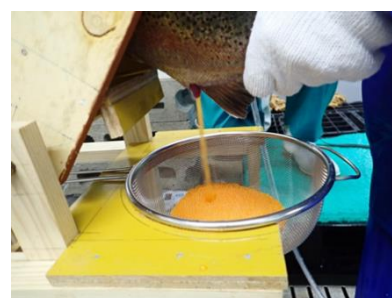
1. 海でニジマスを飼育し、成長の良い個体を選び、陸上水槽（淡水）で飼育します。陸上水槽で苦手な暑い夏を越さなければいけません、クーラーの効いた部屋で快適に過ごします。



2. 光や水温を調整することで子供をつくる準備をします。産卵が近づくと雌はお腹が大きく膨らみ（写真上）、雄は体色が黒くシャープな顔つき（写真下）になります。



3. 雌から卵をしぼり（採卵）、雄の精子を掛け合わせて人工受精させます。卵の見た目は正にイクラです。ちなみによく見かけるイクラはシロザケの卵が多いようです。



4. 受精卵はしばらくすると黒い眼がはっきり見えてきます（発眼卵）。ここで、正常に眼ができなかった卵を取り除きます。この作業を怠ると良い卵までカビだらけになってしまいます。

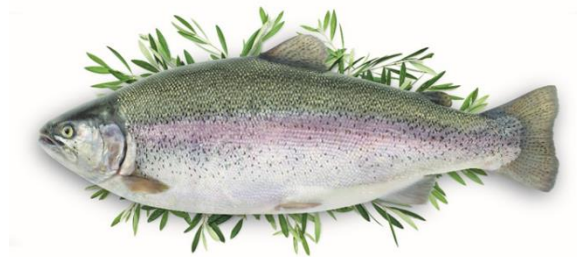


5. ふ化後、1か月くらいはオレンジ色の卵黄から栄養を摂取するので餌は食べません（写真左）。卵黄がなくなると、餌を求めて浮いてくるため、配合飼料を与え大きく育てていきます（写真右）。



今年度は11月頃に採卵したものが11月から1月にかけて孵化しました。
3月現在、孵化した稚魚は元気に育っています。

この稚魚たち、4月には県内の養殖業者の元へ出荷され、淡水での中間育成を経て12月には海面養殖が開始、翌年4月～5月にはオリーブサーモンとして販売される予定です。
オリーブサーモンとは、オリーブ葉の粉末を配合した飼料を与えて養殖されるニジマスのことです。これまでに行った試食会では、讃岐さーもんに比べ、歯応えが良く、臭みが少ないとの評価も得られています。



稚魚たちがすくすく育つのも美味しいオリーブサーモンを食べるのも楽しみにしています。
くださいね。

(文責 鈴木雄大)